

事業概要：スタートアップ推進事業

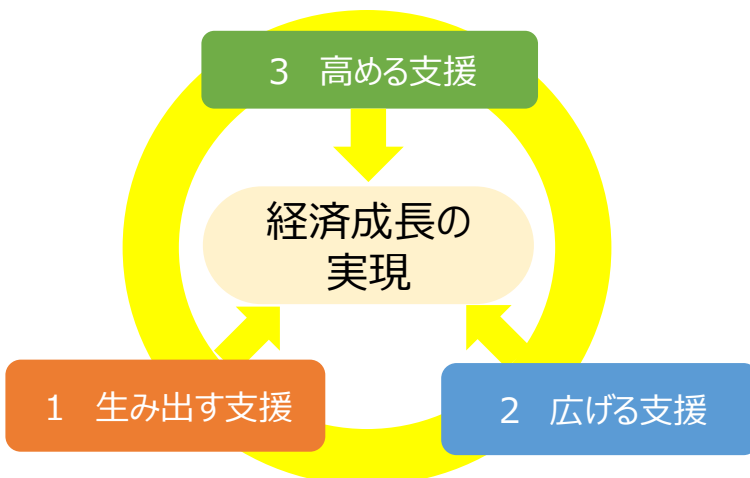
旧制度（推進）

申請者	奈良県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	138,409千円 (44,185千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・①県内の若者（起業家予備軍）の支援、②産学官連携を中心としたスタートアップの成長支援、③県内企業とスタートアップの連携の3つの視点から起業やイノベーションを通じたビジネスの創出（スタートアップの創出）を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 産学官連携によるスタートアップへの成長支援、県内の起業家予備軍の支援および県内でスタートアップが継続的に生み出される環境構築を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○産学官連携を中心としたスタートアップの成長支援 ・事業化補助金伴走支援（委託料）13,500千円 ・事業化補助金（補助金）10,000千円 ○県内企業等とスタートアップの連携 ・社内ベンチャー創出支援（委託料）7,338千円 ・インキュベーション施設利用補助金（補助金）600千円 ・スタートアッププロモーション委託料（委託料）6,962千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①「J-Startup KANSAI」（+4件） ②KSACのギャップファンドからの資金調達件数（+11件） ③スタートアップと県内企業・地域社会との新たな連携件数（+17件） ④県が主催・共催するアントレプレナーシップイベントの参加者数（+110人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.nara.jp/40445.htm

事業概要：観光DXの推進による観光地経営の高度化事業

旧制度（推進）

申請者	奈良県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	90,000千円 (35,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	観光に関するデータやデジタル技術を活用し、県、市町村といった行政や県内事業者等が、状況の変化に応じて、適時適確で効果的な施策の遂行や事業の展開をするための「データ活用による効果的な地域活性化」、変化に対応した誘客を行うための「デジタル技術を活用した来訪者への新たな価値創造」を実施していくことにより、観光消費額や宿泊者数の増加等による地域活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 奈良県観光データ「見える化」ツールの運用、機能拡充（「地域データベース」に係る機能）を実施し、県内市町村や事業者等がより活用できる状態にし、データを活用した観光振興をさらに推進する。	ツール導入、データベースの構築など ↓ 県、市町村、事業者などで、効果的な施策遂行・事業展開に活用 ↓ 宿泊者数、観光消費額の増加等	
	【主な経費】 (1) 「見える化」ツールの運用（委託料）：15,000千円 (2) 「地域データベース」機能の拡充（委託料）：20,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+34,180百万円） ②延べ宿泊者数（+1,098,000人） ③地域データベースの利用者数（+50者） ④ウォーキングポータルサイトの閲覧数（+427,000回）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nara.jp/40445.htm

申請者	奈良県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	248,401千円 (75,600千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	企業のリアルな「声」（ニーズ、課題）を起点とした「新しい産業政策のパッケージ」を展開し、「1. 新たな事業や付加価値を『生み出す支援』」、「2. 売り方や販路を『広げる支援』」及び「3. 企業の価値や魅力を『高める支援』」を行うことにより、本県の潜在力に見合った経済成長の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 1. 若者と県内企業、スタートアップ企業と交流の場の創出など、オープンイノベーションの取組を進め、自発的・内発的なイノベーション創出の仕組みを構築する。 2. 国内外の市場における需要を的確に捉え、戦略的な営業活動やマーケティング施策を通じて、県内企業の新たな販路開拓を目指す。 3. 県内企業が社会的責任を果たしながら持続可能な成長を目指すことで、企業価値の向上と信頼の確保を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 1. ①新技術・新ブランドの開発・展開（50,698千円） ②産学官が連携した新事業創出（11,639千円） 2. ①ECを活用した売り方支援（7,010千円） ②国内・海外の販路支援（4,035千円） 3. ①SDGsに係る取組による企業価値向上支援（2,218千円）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①事業実施にかかる新規雇用者数（+40人） ②支援した事業者の内、直近決算と比較して営業利益率が向上した事業者の割合（30%以上） ③研究開発等支援件数（+33件） ④自社ブランド開発等に取り組む事業者数（+99人） ⑤オンラインプラットフォームの登録者数（+300件） ⑥海外展開相談件数（+1,563件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nara.jp/40445.h tm

事業概要：未来を担う人材の県内就労・定着促進事業

継続

申請者	奈良県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	262,413千円 (81,837千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県内企業の魅力向上、次世代の人材育成、県外からの移住促進や就職支援、外国人材の受入・定着支援を強化することにより、地域経済の活性化、企業の人手不足解消、住民が安心して暮らせる社会の構築を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○県内企業の魅力向上・県内就労促進事業 ・県内企業の魅力を高め、持続的な成長をサポートするとともに、企業と求職者や学生を結びつける機会を提供。 ・地域の産業教育の強化を目的として、県内企業と連携を深め、企業実習と学校での学習を両立させる仕組みを構築。 ○移住・外国人材受入推進事業 ・大都市圏での移住相談拠点を設置するとともに、市町村と協力し、移住フェアへの出展や移住・就労セミナー等を開催。 ・外国人材の採用に関するセミナーや交流会、インターンシップを通じて、県内企業の外国人材受入を促進するとともに職場定着・活躍を支援。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 県内企業の魅力向上・県内就労促進事業 ・企業と学生を結びつける機会を提供し、県内企業の魅力を発信(13,609千円) ・高校生の産業教育を強化するため、県内企業との連携を深め、産学連携により地域社会で活躍できる人材を育成(5,708千円) ・相談員が就労希望者に対し、県内就労支援を実施(7,063千円) 移住・外国人材受入推進事業 ・大都市圏での移住相談拠点の設置及び情報発信等を展開(18,184千円) ・外国人材の県内就労及び受入環境の整備を支援(37,273千円)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①奈良県からの転出者に対する転入者の割合 (+3.0%) ②就職した新規高校卒業者に占める県内就職者の割合 (地域における新規雇用者数) (+3.0%) ③県内の外国人労働者における「技術・人文知識・国際業務」の在留資格保持者数の割合 (+0.03%) ④移住・相談件数 (+1,980件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nara.jp/40445.htm

事業概要：奥大和の地域資源を活かした産業振興による持続可能な地域づくり事業

申請者	奈良県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	374,893千円 (142,168千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・奥大和の地域資源を活かした産業の振興を図り、地域経済の基盤を強化することで、地域の稼ぐ力を育み、若年層の雇用創出を目指す。 ・既存商品の高付加価値化によるブランド力の向上や、奥大和の豊かな自然、歴史や風土が息づく地域資源を活かしたツーリズムの振興、新たな地域資源の発掘や製品開発技術の支援による商材化の促進、DXなどを活用した域内事業者の経営改善支援などに取り組み、地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○デザイン、技術、サービス等を活かした高付加価値化によるブランド力の向上 ○奥大和の自然や歴史、風土や生活文化に息づく地域資源を活かしたツーリズムの推進 ○奥大和の地域資源の発掘、商材化による地域の収益力強化 ○事業承継の円滑化、DXなどを活用した経営改善支援						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「奥大和ブランド」力を向上させるプログラムの実施（委託料等）4,653千円 ・奥大和プロモーション事業（委託料等）75,820千円 ・奥大和アウトドア・スポーツツーリズム推進事業（委託料等）31,306千円 ・奥大和ものづくり支援事業（需要費等）1,900千円 ・奥大和の生薬に関する支援事業（需用費等）5,967千円 ・奥大和地域リーダー育成事業（委託料等）7,138千円 ・奥大和学生就業支援事業（委託料等）8,876千円 ・県内宿泊施設と奥大和地域事業者とのビジネスマッチング事業（委託料等）1,980千円 ・奥大和空き家・空き店舗活用促進事業（委託料等）4,528千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+3,510人） ②ブランド力向上事業参画事業者数（+30事業者） ③奥大和地域の観光入込客数（+2,400万人） ④事業継承支援事業への学生の参加者数（+100名） ⑤技術支援した製品の開発数（+12製品）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nara.jp/40445.htm

申請者	奈良県					初回採択回	令和7年度第1回募集							
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	171,770千円 (60,000千円)							
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業									
目的・効果	・行政と住民の接点を増やし、データの蓄積・分析を通じてパーソナライズされた情報提供の実現。 ・住民のニーズに応じた情報提供で行政サービスの精度向上を目指す。 ・情報発信力及び住民の利便性向上により地域の活性化を図る。													
事業概要・主な経費	【事業概要】 ○住民のニーズに即した情報発信の実現 政策の情報発信と住民の認知不足、SNS多活用の課題解決のため、住民一人ひとりに必要な情報を的確に届けるにはどのような情報発信が求められるのかを整理・分析し、効果的な発信手法を検討。 ○生成AIとの連携 蓄積されたデータをもとに、住民ごとに最適化された文案や新しい案内シナリオを自動生成。 ○組織間での情報連携の実用化 マイナポータルとの連携機能を追加。													
	【R8年度事業 経費内訳】 <table><tr><td>・自動メッセージ配信機能の利用</td><td>7,920千円</td></tr><tr><td>・分析ツールの利用</td><td>1,080千円</td></tr><tr><td>・検討委託</td><td>20,000千円</td></tr><tr><td>・県・市町村間での情報連携の実用化</td><td>30,000千円</td></tr><tr><td>・県内外への周知</td><td>1,000千円</td></tr></table>								・自動メッセージ配信機能の利用	7,920千円	・分析ツールの利用	1,080千円	・検討委託	20,000千円
・自動メッセージ配信機能の利用	7,920千円													
・分析ツールの利用	1,080千円													
・検討委託	20,000千円													
・県・市町村間での情報連携の実用化	30,000千円													
・県内外への周知	1,000千円													
主なKPI	①奈良県の転出者に対する転入者の割合 (+3%) (転入人数／転出人数) × 100 ②奈良スーパーアプリアカウント登録者数 (+134,100人) ③利用者満足度 (+0.30)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nara.jp/40445.htm							

繼續

申請者	奈良県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	7,104,880千円 (1,668,950千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	奈良県にとって観光は基幹産業のひとつと位置づけているが、ポテンシャルの高い観光資源に頼り、観光資源自体の磨き上げが不足していたため、【①観光消費額が非常に少ない（安い観光地）】【②宿泊客数が非常に少ない＝滞在時間が短く深い魅力を知ってもらえていない（浅い観光地）】【③観光客が奈良公園周辺に集中（狭い観光地）】といった課題が顕在化している。 このため、県内各地域にフォーカスした「観光地域づくり」を推進することで、奈良公園エリアに集中している観光客を分散させ、平城宮跡を含めた奈良県全域で観光消費額及び観光投資額を拡大させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内各地域にフォーカスし、地域の観光ステークホルダーと連携・協働しながら「観光地域づくり」に取り組み、「地域への観光誘客」による観光消費及び観光投資の拡大と、「地域の課題解決」を図るための施策を推進する。具体的には地域ごとの人流・消費データ等の観光データを活用しつつ、地域の現状・課題・強み等を共有・見える化し、「地域への観光誘客」による観光消費及び観光投資の拡大と「地域の課題解決」を図るための取組を取りまとめ、地域の観光ステークホルダーと連携・協働した実効的な取組に着手する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・観光地域づくりを推進する取組を実施（委託料）82,000千円 ・国内外に向けた誘客プロモーションを実施（委託料等）136,950千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業（工事請負費等）600,000千円 周遊道路の改良等による観光周遊の快適性・安全性向上を実施 ・都市環境整備事業（負担金）850,000千円 新たな玄関口整備による新たな賑わいの創出と県内全域への拡大を実施						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+1,733億円） ②一人あたりの観光消費額（+4,268円） ③延べ宿泊者数（+164万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nara.jp/40445.htm

事業概要：こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり事業

継続

申請者	奈良県、川西町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R8-R13年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	4,121,201千円 (54,109千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・奈良県の「こどもまんなか未来戦略」に基づき、障害の有無に関わらず、すべての子どもや子育て世帯が安心して遊び・過ごせる、インクルーシブな公園整備とまちづくりを推進する。 ・まほろば健康パークに、プレーリーダーの配置やインクルーシブ遊具の導入等を通じて、誰もが使いやすく交流しやすい環境が整備され、インクルーシブなまちづくりが創出される。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「奈良県こどもまんなか未来戦略」に基づき、まほろば健康パークにおいて新たなエリアの整備を行い障害のあるこども・ない子どもが自然に交わり、共に遊び学ぶ空間・交流関係を形成する。イベントや情報発信を通じて、インクルーシブなまちづくりのモデルとしての認知を高め、地域に新たな価値を創出し、「こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり」の実現につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 54,109千円 公園整備に伴う交通量の増加等に対応した橋梁の新設を行う						
主なKPI	①「こどもまんなか社会の実現に向かっている」と思う人の割合 (+42.96%) ②県営都市公園の年間利用者数 (+6,000人)					URL	https://www.pref.nara.jp/40445.htm

事業概要：誰もが輝くアクティブな健康まちづくり事業

継続

申請者	奈良県、橿原市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	6,464,700千円 (15,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・「誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくり」の拠点となる」施設として「(仮称)アクティブアリーナ」を整備するとともに、多くの県民が同施設を利用しやすい鉄道駅を整備し、健康をテーマとしたまちづくりを行う。 ・県民誰もがスポーツに親しむ環境を整備と体験型スポーツイベント等の継続開催により、更に本県のスポーツ振興を推進し、県民の健康への意識高揚を図り「健康長寿の奈良県」、「持続可能な地域社会」の実現に資する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人が集まり、スポーツを親しめる拠点と地域活性化の核となる施設として「(仮称)アクティブアリーナ」を整備するとともに、多くの県民が同施設を利用しやすい鉄道駅を整備し、健康をテーマとしたまちづくりを行うとともに、多世代のスポーツマインドを醸成する等の事業を実施することで、本県のスポーツ振興の推進や健康長寿の伸長、持続可能な地域社会を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・こどもをはぐむ運動推進事業（委託料等）3,300千円 ・アリーナ及び駅周辺空間の利活用検討（委託料）12,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①駅利用者に対する運動施設交流人口割合(0%) ②地域に存在する駅の乗降客数（+7,256人） ③運動習慣率（男性）（+2.8%） ④運動習慣率（女性）（+4.0%） ⑤県民の健康寿命（男性）（全国1位） ⑥県民の健康寿命（女性）（全国1位）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nara.jp/40445.htm

申請者	奈良県奈良市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	306,643千円 (70,330千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・シルクロードでの交流に焦点を合わせた「奈良・サマルカンド特別交流展」の開催に合わせて、奈良観光の新たな魅力を発信し観光目的を追加することにより、社寺、博物館・美術館、飲食店等を巻き込みながら観光消費額の増加を図る ・シルクロードでの交流の礎となった「寛容」「多様性の尊重」を改めて打ち出し、奈良市のブランド力向上を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 2027年夏に奈良国立博物館において、人気が高いシルクロードに関連した特別展を開催することにより、観光目的地としての奈良国立博物館の存在をアピールする。特別展に関連し、奈良の歴史深い文物鑑賞や社寺・博物館等訪問を目的とする客層にとって魅力的な追加訪問先を発信することで、宿泊・再訪につなげ観光消費額を増加させる。					 サマルカンド市（ウズベキスタン共和国） のレジスタン広場	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・展示造作業務経費（委託料）54,201千円 ・キュレーターによる展示総括経費（委託料）6,950千円 ・専用ホームページ制作経費（委託料）2,871千円 ・出張経費（旅費等）4,144千円 ・プロモーション動画作成（委託料等）446千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内における観光消費額（+133.86億円） ②市内における宿泊客数（+12.42万人） ③市内におけるシルクロード関係観光商品、飲食商品及びツアーの発売数（+35件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nara.lg.jp/site/kankou/258135.html

事業概要：大和郡山城下町エリアにおける持続可能な観光振興事業

継続

申請者	奈良県大和郡山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	325,370千円 (189,817千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市のシンボルエリアである城下町エリアの価値・ブランドイメージを向上させることで、観光やまち歩きなどの人流の増加を図る。 ・市内外の若い世代に本市の魅力を伝え、定住率・Uターン率の向上に繋げ、長期的な視点に立った、人口、特に若者世代の転出抑制・転入増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市ゆかりの郡山城主豊臣秀長を主人公として描く2026年大河ドラマの放送を契機として、ポストコロナの時代に対応した、より価値の高い観光エリアの創出を目指す。本市の城下町エリアの魅力を今一度ブラッシュアップした形で発信し、今後の本市の持続可能な観光振興の姿を検討・実施し、その過程でエリアのブランドイメージの向上を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 城下町エリアの歴史的観光資源の魅力のブラッシュアップ ・高付加価値コンテンツによる展示（負担金等）112,806千円 ・城跡活用展示・イベント（委託料等）11,064千円 新しい「城下町エリア」としてエリアブランディング ・周遊促進・機運醸成・物販拠点（負担金）16,148千円 まち歩きへの誘導を意識した多様な誘客プロモーション ・プロモーション・誘客イベント等（負担金・委託料）49,799千円						
主なKPI	①観光消費額（+2億9百万円） ②主要観光スポットの観光客数（+10万人） ③主要観光スポットからの商店街周遊率（+50%） ④ファンクラブの会員数（+500人）					URL	https://www.city.yamatokoriyama.lg.jp/shiseijoho/shinotorikumi/sonohokanojigyo_torikumi/16347.htm

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要： 観光・農業振興に向けた産・官・学連携人材育成プラットフォーム構築プロジェクト

申請者	奈良県天理市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	56,972千円 (17,224千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・天理大学・(株)モンベル共同体と連携し、天理駅前に観光・農業一体の地域振興に貢献できる人材育成拠点を新設。 ・天理駅前拠点施設（観光・農業専門人材育成）において、天理大学は学生への特別講義に加え、市民向けのリカレント教育も実施。また、(株)モンベル（天理大学と連携協定）、地元企業等と連携し、インターンシップを含む実践を通じた大学生の観光・農業振興に関わるノウハウの習得を目指す。さらに、インバウンド需要に対し、インバウンドに対応する人材やデジタル技術（位置情報連動多言語観光アプリ）を活用し、新たな観光振興を図る。 ・これら産・官・学連携事業により、新たな視点による若年層や外国人観光客を中心とする観光振興、天理の農産品のブランド価値の創出によるまちづくりを実施する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 （観光・農業人材の育成）1年目・2年目の講義及びインターンシップ履修者への起業支援・新規就農就職支援を行うとともに、人材育成プラットフォームとしての機能をブラッシュアップし、継続的な運用のため定期的カリキュラムの見直しを行う。 （観光・農業振興）持続可能な周遊観光を目指し、これまで育成した人材やインバウンド観光アドバイザー、天理大学の留学生等と共に2年目に導入した位置情報連動型オンライン音声ガイドアプリ（ON THE TRIP）を大学生などの若年層や外国人からの視点により前年度からバージョンアップさせ、若年層やインバウンドといった新たな客層の取り込みに向け、観光・農業一体の観光コンテンツの創出や、「天理ブランド」の販路拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・（観光・農業人材の育成）・外部講師派遣料 1,000千円 ・インターンシップ委託料 調査・企画立案費 6,600千円 物品費 400千円 ・観光コンシェルジュ委託料 3,000千円 （観光・農業振興）・特産品販売委託料 2,300千円 ・メニュー開発委託料 1,000千円 ・モンベルフレンドエリア登録料 924千円 ・インバウンド観光アドバイザー経費 1,000千円 ・オンライン音声ガイド製作費 1,000千円						
主なKPI	①観光消費額（+404,000千円） ②人材育成講座受講者数（+175人） ③観光コンシェルジュ利用者数（+10,500人） ④新規就農者数（+22人）					URL	https://www.city.tenri.nara.jp/kakuka/shichoukoushitsu/sougouseisakuka/top/tenrisimachihitosigotosouseikaigi/13013.html
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：「天理版オープンファクトリー2.0」 観光資源を再発見！
～ 静かなる 場・物・知 の扉を開いて 新たな価値の創造を ～

継続

申請者	奈良県天理市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,000千円 (10,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 燕三条や越前等での新たな「観光」創出について実績がある(株)中川政七商店と本市が取り組んできた地方創生や観光を融合させ、新たな観光コンセプト「天理版オープンファクトリー2.0」を打ち立てる。本市に誘致した日本の工芸を総合的に支えるハブ機能を持つ同社NKG倉庫を拠点に、商店街の神具店やエスプレッソマシン専門店といったモノ作りや技術・ノウハウが集積した市内の事業所と本市の神社等の様々な観光資源を改めて“倉／くら”という観光コンテンツとしてとらえ、普段見ることができない地域の工場の製造現場や神事（≒イベント）以外の全国の神職の修行の場といった裏側を公開する“倉開き”を行い、学びの要素を持った新たな観光コンセプトを構築する。 ・ 本事業の実施により、特に産業分野の地域事業者の魅力のコンテンツ化を行うことで、新たなターゲット層へのアプローチと県内観光客の本市への誘客を図る。また、体験コンテンツの利用による地域での観光消費を拡大させることで、観光による地域経済の活性化に繋げる。 ・ 地域事業者においては、イベント参加を通じB to BからB to Cへの新たな事業展開やビジネスチャンスの機会とする。また、地域事業者の経営理念や強みといった仕事の魅力を地元の若者層に伝え目を向けさせることで、地域内での就業・雇用拡大を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 1年目の市場調査及び開催イベントの結果を踏まえた効果検証と軌道修正を行ったうえで、イベントデザインを行った事業者に委託し、事業プラットフォームを固める。2年目においては、参加事業者を30～35社程度まで拡大した本イベントを開催し、1年目と同様にイベント開催時には専門の事業者に委託し、事業内容の効果・検証を行うとともに参加者の動向分析も行い、次年度事業に反映する。					 オープンファクトリーの中心拠点となるNKG倉庫 “単なる倉庫でなく日本の工芸を支えるハブ”  普段見れない市内の様々な事業所での“学び”を新たな観光資源に昇華	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 「オープンファクトリー2.0」運営管理事業 【事業内訳】 ・市場調査費（プレスツアー、テストマーケティング等）500千円 ・地域事業者の調整管理業務委託（マッチング及び受入コンサルティング等）4,500千円 ・本イベント運営負担金（各会場設営、機器レンタル、2次交通（周遊バス・レンタサイクル・地元タクシーとの連携など））2,500千円 ・広告・PR料（告知物の印刷、WEBサイト更新 等） 2,500千円						
主なKPI	①観光消費額（+118,000千円） ②市内企業への新規就業者数（ハローワーク分（+130人） ③イベント参加事業所数（+60事業所） ④イベント参加者数（+8,000人） ⑤参加事業所イベント総売上（+5,000千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tenri.nara.jp/kakuka/shichoukoushitsu/sougouseisakuka/top/tenrisimachihitosigotosouseikaigi/13013.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

オープンファクトリーの中心拠点となるNKG倉庫 “単なる倉庫でなく日本の工芸を支えるハブ”

普段見れない市内の様々な事業所での“学び”を新たな観光資源に昇華

事業概要：世界遺産登録を見据えた観光振興並びに受入環境の整備事業

継続

申請者	奈良県橿原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	638,120千円 (37,953千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	「飛鳥・藤原の宮都」が令和8年度に世界遺産登録となることを目指している。 - 世界遺産登録により、知名度が高まることで、国内はもとより海外からの来訪も見込めることから、インバウンド対応も含めた観光振興並びに地元の機運醸成を含む受入環境の整備を行い、観光資源の魅力を向上し、観光客の集客を図る。 - その際、周辺施設の改修も併せて行うことで、橿原市域全体の魅力向上を図り、もって、地域周遊及び長期滞在の促進も図っていく						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域の機運醸成と橿原市の知名度向上のため、マルシェの開催やメディアを活用し質の高い情報コンテンツを発信すると共に、市民や来訪者に情報を効果的に提供するためのLEDビジョン及びシステムの改修を実施する。また、「飛鳥・藤原の宮都」の周遊ルートに近接する橿原市昆虫館の観光客の集客に向けた機能向上のためのリノベーションを実施する。					「飛鳥・藤原の宮都」構成資産：藤原宮跡 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 世界遺産登録活用事業 ・メディアを活用した機運の醸成とPR事業 18,000千円 ・藤原京マルシェ事業 318千円 ○拠点整備事業 ・昆虫館施設整備事業費 19,635千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費総額〈宿泊を伴うもの〉(+36.3億円) ②地域における観光入込客数(+230.0万人) ③藤原京マルシェ出店数(+25件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kashihara.nara.jp/soshiki/1006/gyomu/9/5/3521.html

事業概要：起業者増加と中小企業者販路拡大支援事業

継続

申請者	奈良県橿原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	24,700千円 (7,400千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・起業検討者を支援して起業者を増加させるとともに、世界文化遺産登録を見据えた商品開発に伴う事業者の販路の拡大により、空き店舗解消、開業率・廃業率改善による雇用創出と、橿原市の産業界の未来を担う人材育成を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・創業塾実施 市内での起業者を育成するため、起業に必要な知識（経営、財務、人材育成、販路開拓）の習得と事業計画を作成できるようなカリキュラムの講習を実施するもの。 ・商品開発に関する事業 2026年の「飛鳥・藤原の宮都」の世界文化遺産登録に合わせて、地域の特産品や世界遺産構成資産にちなんだお土産や飲食物等の商品開発等をする市内事業者や起業者に対し、開発にかかる経費を補助するもの。 ・起業等スタートアップ補助金 空き店舗減少と雇用者増加を図り、デジタル技術を活用した起業者の支援を行うため、創業塾等を受講した起業準備者に対し、起業時にかかる改修工事費、付帯設備、システム開発費等の経費を補助するもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・創業塾実施（補助金）1,400千円 ・商品開発に関する事業（補助金・広告料等）3,000千円 ・起業等スタートアップ補助金（補助金）3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①支援事業を通じた起業による新規雇用者数（+43人） ②支援事業を通じた起業者数（+63事業者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kashihara.nara.jp/soshiki/1006/gyomu/9/5/3521.html

事業概要：たのしく健康にウォーカブルなまちづくり事業

継続

申請者	奈良県橿原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	23,100千円 (10,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・スポーツを活用した交流人口の増加を目指す。 ・加えて、地域住民の健康づくりにも取り組むなど、ウェルビーイングな環境整備を進めることで、定住環境の確保を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 豊富な自然環境と貴重な歴史遺産は、本市らしさを醸し出す貴重な地域資源である。まずは廃止の方針である既存の施設の機能を合宿施設やアーバンスポーツエリアなどに変更して活用することにより新たなスポーツ体験や、橿原ならではの観光や食事のもてなし、宿泊施設等が融合したスポーツコミッション活動を推進し、総合戦略基本目標2である「新たな人の流れや交流を盛んにする魅力づくり」を目指す。（一社）橿原市観光協会等と連携・協力しながら、スポーツイベントを開催し、本市への来訪者のおもてなし、またイベント等の楽しみを共有することにより、市民と市外の方との広域的な交流やスポーツ施設を活用した強化合宿の誘致活動を推進し、観光消費額の増加を目指す。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 新たなスポーツコミッションの設立 10,300千円 ・コミッション設立に向けた可能性調査を含む構想作成（委託料） ・コミッション有識者（講師）の招致し勉強会等を実施（報償費） ・まちを楽しむグランドデザイン構想（委託料） ・スポーツコミッションを活用した新たなイベント等の実証事業（実施経費）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①宿泊を伴う観光消費額（+23億8千万円） ②地域におけるスポーツ施設利用者数（+113,400人） ③スポーツコミッションが関わったイベントの回数（+21回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kashihara.nara.jp/soshiki/1006/gyomu/9/5/3521.html

事業概要：世界遺産構成資産候補魅力増進事業

新規

申請者	奈良県橿原市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	132,429千円 (71,344千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 本市は、市内に所在する史跡を含む「飛鳥・藤原の宮都」の令和8年に世界遺産登録を目指している。 - 世界遺産登録を契機に、世界遺産構成資産候補における更なる観光客の受入環境整備事業を推進し、長期滞在を含む安定した観光客の来訪を目指す。 - 滞在型・周遊型の観光地への進化を目指す事業であり、新たな販路開拓を含む関係人口を増加させ、地域外から稼ぐ力を高めるとともに地域内経済循環を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 増加する観光客への対応を可能にするため、「飛鳥・藤原の宮都」のガイダンス施設である橿原市藤原京資料室をリニューアルする。 また、世界遺産構成資産候補である藤原宮跡、本薬師寺跡、菖蒲池古墳は世界遺産の価値を有す遺構の大半が地下に埋蔵されている。また、世界遺産の価値の真正性が担保された復元整備が行われていないため、現地を訪問する観光客は価値を理解し難い状況である。そこでデジタル技術を活用し、観光客の理解を促進する解説アプリを提供する。					橿原市藤原京資料（現状）  パネル展示	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・世界遺産構成資産候補解説強化事業 35,100千円 ・世界遺産「飛鳥・藤原」啓発強化事業 462千円 ○拠点整備事業 ・橿原市藤原京資料室整備、藤原京跡トイレ新設 35,782千円					 映像コーナー	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費総額〈宿泊を伴うもの〉（+16.15億円） ②地域における観光入込客数（+142.2万人） ③橿原市藤原京資料室来室者数（+5,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kashihara.nara.jp/soshiki/1006/gyomu/9/5/3521.html

事業概要：木造駅舎（JR畝傍駅）の交流拠点施設整備による地場産業活性化事業

申請者	奈良県橿原市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	629,168千円 (233,168千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・JR畝傍駅（木造駅舎）を核に、地場製品のファンを育成することで、継続的な支援（リピート消費）を促す仕組みの構築を目指す。 ・賑わい創出を目的に「カフェレストラン」を配し、多様な人々の交流や滞在の機会を提供し、交流人口の増加に繋げる。 ・「地場産業の振興」と「人流の増加」が両輪となり、経済的潤いと賑わいをもたらし、地域産業の稼ぐ力を強化する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中心市街地や主要観光ルートにおいて、地場産品を知ってもらう「機会」や「場所」が不足しているため、JR畝傍駅の駅舎を「地域の魅力発信及び交流のプラットフォーム」として再生させる。駅舎を、地場産品のPRや観光情報を発信する「ショールーム機能」と、賑わいを創出する「カフェレストラン」を融合させた滞在型拠点へと転換する。駅前広場は、「地場産品フェア」等のイベントのフィールドとするとともに、観光客の回遊性向上に資する視認性の高いサインシステムやシェアサイクルを集約する。併せて、イベントやPRを行う核人材の発掘・育成をおこなう。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・駅舎の模様替え及び賑わい施設（機能）の追加 ・施設実施設計（改築） 44,418千円 ○インフラ整備事業 駅前広場（ロータリー及び環境空間）の整備 ・駅前広場詳細設計 26,268千円 ・用地買収 157,200千円 ・測量費等 5,282千円						
主なKPI	①橿原市全域の交流人口の増加（+9,600人） ②橿原市全域の観光消費による付加価値増加額（+42,288千円） ③JR畝傍駅の利用者数（+57人） ④畝傍駅サポーターの人数（+100人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kashihara.nara.jp/soshiki/1006/gyomu/9/5/3521.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：新庁舎及び旧庁舎周辺を核としたにぎわいづくりによる関係人口創出事業

申請者	奈良県五條市					初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	52,687千円 (5,576千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・これまで地域との関わりがあった人たちを対象に、地域と改めて継続的なつながりを持つ機会を創出し、関係人口の増加を図る。 ・大学生などの地域外の若者の視点を活用したイベントの構築を行い、地域資源の魅力を現在の感性で見直し、新たな関係人口の獲得を行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 関係人口創出の具体的手法として、課題に沿って以下の３点をテーマに取り組を進める。 ①これまで地域との関わりがあった人たちを対象に、地域と改めて継続的なつながりを持つ機会を創出する。 ②地域資源の魅力を現在の感性で見直し、新たな関係人口の獲得に向けた取組を推進する。 ③これから地域に関わりを持ちたいと考える人たちのニーズをとらえた取組を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 マルシェ等イベント開催費用 ・保険、消耗品、切手代等（役務費、需用費等） 178千円 ・会場設営等（委託料） 1,500千円 吉野川活性化イベント事業 ・イベント補助（交付金） 1,500千円 上野公園桜まつり事業 ・軽油、保険代（役務費、需用費等） 60千円 ・警備業務、イベント開催業務（委託料） 540千円 ・照明機器代（備品購入費） 400千円 SNS,映像による情報発信 ・SNSオプション、編集ソフト（使用料） 1,398千円						
主なKPI	①開催者としてイベント等に参画した人数（+250人） ②SNSアンケート回答者のうち市外者数（+500人） ③マルシェ等出店者の総売り上げ（+400万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.gojo.lg.jp/soshiki/kikaku/5_1/gojoshivision/11422.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：（仮称）五條市市民交流施設整備事業

新規

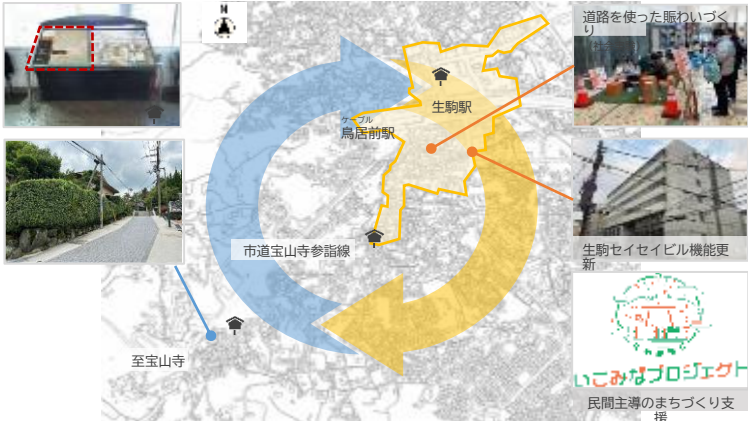
申請者	奈良県五條市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,000,000千円 (171,806千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・公共施設における質の高いサービス提供により多様な世代を呼び込み、商業エリアへ誘導することで、地域内消費を最大化させ、市外への経済流出を食い止める。 ・孤立しがちな子育て世代に「安心できる居場所」を提供するとともに、交通弱者も安心して買物や交流ができるよう交通の結節点とすることで、「持続可能な暮らしの安定」を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ワークショップを開催するなど、市民の意見を聞き取った結果、「子育て・教育環境の相対的な魅力低下」「生活利便機能の維持危機と「買い物難民」の懸念」などの課題が顕在化したため、官民四者が連携し、中心市街地活性化事業を実施。各主体がそれぞれの専門性を発揮し、相乗効果を最大化させる。 新設する当該施設は商業施設と公共複合施設を併設させ、設計・施工をイオンリテール（株）が一括して担うことで、商業動線と公共動線をシームレスにつなげて、圧倒的な集客力と利便性を実現しつつ、市は公共施設の整備費用のみを負担することでコストの抑制を図る。					 ▲外観イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・実施設計 144,498千円 ・開発工事（仮設工事、舗装工事 27,308千円						
主なKPI	①民間商業施設を含む、施設敷地内の年間滞留人口（+1,023,280人） ②施設への期待度・満足度（+4.3） ③子育て世代（20-30代）の移動率（+0.14%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.gojo.lg.jp/soshiki/kikaku/5_1/gojoshivision/11422.html

事業概要：「住む」「働く」「楽しむ」を軸とした「自分らしく輝けるステージ・生駒」推進事業

申請者	奈良県生駒市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	154,698千円 (51,759千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・多様な主体がつくる魅力の発信により、生駒市の認知度や来訪意欲の向上のみならず、まちへの愛着や共感を高め、地域に関わる意欲の向上を図る。 ・公共空間等を活用した交流・滞在の場の創出により、市民が市内で滞在する時間を増やすとともに、市域への来訪者の誘引を図る。 ・多様な働き方と市内での経済循環の促進により、所得の確保や通勤時間の短縮等の余裕が生まれるとともに、日中も地域の中で過ごす人が増えることで、これまで以上に地域や人とのつながりを得ることができる環境づくりにつなげる。 ・地域共生社会の実現に向けた環境づくりにより、多様な分野で新たな主体による地域活動の創出を促し、その活動が継続・自立するよう支援することで、地域課題の解決やまちの新たな魅力創造につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 誰もが希望に応じて、ビジネスやボランティアといった手段を問わず役割や生きがいを持ち、活躍できる魅力ある地域コミュニティの実現は、住民の満足度や幸福度の向上による定住率の向上、住民同士の相互扶助の促進、まちづくりの担い手の発掘など、様々な効果が期待できる。 本事業においては、本市の構造的課題を解決するため、「多様な働き方と市内での経済循環の促進事業」と「市民主体の住みやすい地域づくり事業」を中心に、「働く」「楽しむ」といった暮らしに彩りを加える交流・滞在の場づくりとして「公共空間等を活用した交流・滞在の場創出事業」に取り組むとともに、地域内外の新たな参画者を募るための「多様な主体がつくる魅力の発信事業」に取り組むものである。					多様な主体がつくる魅力の発信事業 公共空間等を活用した交流・滞在の場創出事業 多様な働き方と市内での経済循環の促進事業 （運携事業）中古住宅を含む戸建て住宅の流通促進 地域共生社会の実現に向けた環境づくり事業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 多様な主体がつくる魅力の発信事業 ・情報発信（委託料）：3,300千円 等 公共空間等を活用した交流・滞在の場創出事業 ・情報発信・啓発（謝礼、消耗品費）：118千円 等 多様な働き方と市内での経済循環の促進事業 ・創業者フォローアップ支援（委託料）：4,103千円 等 地域共生社会の実現に向けた環境づくり事業 ・講座開催（謝礼、委託料、印刷製本費）：1,979千円 等						
主なKPI	①本市へのUIターン数（+90人） ②市民主体の公園利用件数（+18件） ③生駒市図書館を活用した市民活動等のイベント実施件数（+70件） ④創業者フォローアップ支援事業を通じたヒアリング件数（+941件） ⑤市民活動アドバイザー業務における相談受付件数（+180件）					URL	第6次生駒市総合計画のページ https://www.city.ikoma.lg.jp/0000023303.html

事業概要：生駒駅周辺エリアを軸としたエリアブランディング推進事業

継続

申請者	奈良県生駒市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	251,891千円 (43,280千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	- エリア価値を向上させ、エリア内への新規出店を促し、人口流入を進めるため、各エリアで以下の取組を実施する。 - 生駒駅周辺エリアにおいて、新たな交流・起業支援拠点の整備や民間主導のまちづくり活動を推進することで、新規出店者など起業・創業者の増加を図る。 - 宝山寺参道エリアにおいて、道路の美装化や街なみ保全に向けた民間主導の取組への支援を実施することで、住民主体のまちづくりを推進するとともに、エリア内への新規出店者など起業・創業者の増加を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 居心地よく立ち寄りやすく、滞在しやすい公共空間を整備することで、「暮らす価値のあるまち」という都市ブランドを構築し、転入者の増加につなげるため、1年目に実施した社会実験の効果検証や、宝山寺参道エリアと一体となった公共空間の整備方針（エリアビジョン）のとりまとめ等を行う。（ソフト事業） また、老朽化し門前町らしい設えになっていない道路の修景工事にに向けた調査・設計を実施する。（インフラ整備事業）					 生駒駅周辺エリアを軸に公共空間の整備や民間の支援を行い、「暮らす価値のあるまち」という都市ブランドを構築することで、民間主導のまちづくりや新規事業創出、人口流入の好循環を生み出す		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 生駒駅周辺エリア価値向上事業 ・整備方針作成支援経費（委託料）：21,780千円 ・地域のまちづくり活動支援（補助金）：1,000千円 宝山寺参道エリア価値向上事業 ・案内サイン掲示、整備方針作成経費（委託料）：6,500千円 ・建築物等の修景補助（補助金）：3,000千円 ○インフラ整備事業 街なみ環境整備事業（道路修景） 調査・設計 11,000千円 ・市道宝山寺駅前線、宝山寺参詣線支線8号の修景工事にに向けた調査・設計							
主なKPI	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ①本市への転入人口（+90人） ②民間主導により実施する新たな事業件数（+24件） ③市民のまちづくり活動への参加率（+8ポイント） ④セミナー・ルームの利用件数（48件） ⑤就労支援や働き方に関するセミナーの開催回数（+6件）					URL	第6次生駒市総合計画のページ https://www.city.ikoma.lg.jp/0000023303.html	
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：ご近所づきあい再構築による豊かな生活環境の創生事業

継続

申請者	奈良県生駒市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	80,000千円 (40,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・都市圏へ通勤・通学する際の生活拠点としてのベッドタウンから脱却し、多様な生き方・暮らし方に対応し将来にわたって豊かな生活環境を維持する。現代にあった地域コミュニティの在り方を実現することで、住民一人ひとりの主体的な地域参加への意欲を引き出し、地域コミュニティを活性化する。 ・「豊かなご近所づきあいを再構築」し、生駒市で暮らす人々の不安の解消や、将来にわたっても共助・自助が自然と生まれ、誰もが新たなチャレンジに前向きに取り組める、持続可能な豊かな生活環境の創生に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市民一人ひとりの自発的な動機（スキル、趣味、興味関心など）を発露させ、それらを起点とした市民同士のつながりを創出、地域コミュニティへとつなぎこむオンライン・リアルを横断した施策を実装するとともに今後の地縁組織の在り方を検討するコミュニティを設置、運用主体としての中間支援組織の組成に向けた検討を行う。					地域コミュニティの再構築が必要 防災・防犯 見守り活動 美化活動 祭り・イベント 地域コミュニティ 市民活動 自治会 民間企業 老人クラブ 社会福祉協議会 学校・PTA 民衆館 NPO法人 自治会の加入者 自治会の非加入者	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業（一括委託） ①事業構想策定及び調査関係費用（委託料）7,000千円 ②中間支援組織の組成に向けた取組（委託料）6,500千円 ③ご近所づきあいポータルサイト構築関連費用（委託料）10,000千円 ④ワークショップ等による市民の接点創造（委託料）16,500千円						
主なKPI	①地域コミュニティ関係延べ人口（▲1,784人） ②本事業で成立した「総コミュニティ数」（16.7組） ③「1コミュニティ活動あたりの平均参加者」の人数（9人） ④本事業で獲得した「新規コミュニティ参加関心者」の人数（633人） ⑤本事業で成立した「コミュニティが活動可能な総交流拠点」数（5か所） ⑥民間企業連携による外貨獲得金額（800千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	・第6次生駒市総合計画 https://www.city.ikoma.lg.jp/0000023303.html

事業概要：香芝市スポーツ公園整備事業

継続

申請者	奈良県香芝市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R14年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,855,000千円 (425,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「市民の誰もがスポーツに親しむ」をテーマに恵まれた自然環境の中で、誰もが安全で自由に遊び、多様なスポーツが行える公園を整備することで、若者世代の社会減の現状からの脱却を目指すとともに、子育て世代を中心に選ばれる街として発展させ、人口の増加を図る。 ・新たに整備するスポーツクライミングの競技施設を核として、スポーツを中心とした本市観光の振興及び経済の活性化を図る。 ・広域避難地として防災関連施設を整備することにより高齢化する周辺住宅団地等の密集市街地の防災性向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 香芝市スポーツ公園内に、全国的にも数が少ない「リード・ボルダリング・スピード」の3競技ともに国際基準を満たしたスポーツクライミングの競技施設等を整備するとともに、当該施設の優位性を生かし、全日本選手権やインターハイなど国内主要大会のみならず国際的な大会を誘致するほか、奈良県山岳連盟の協力による子どもを対象としたスポーツクライミング体験事業、元オリンピック選手を交えたスポーツクライミング教室といったソフト事業を展開する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 1億6千5百万円 用地・道路新設改良工事 ・国営公園等事業（都市公園事業） 2億6千万円 クライミング施設造成設計・造成工事 クライミング施設設計・建築工事						
主なKPI	①地域の人口の増加（+2,150人） ②スポーツイベント参加者のスポーツを今後も続けたいと思う人の割合（+15%） ③防災イベント参加者の防災意識が向上したと思う人の割合（+15%） ④市外在住者の香芝市に興味を持った人の割合（+15%）					URL	令和8年度10月公表予定
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL							

事業概要：葛城市への人の流れを創造する事業

継続

申請者	奈良県葛城市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	7,114千円 (3,238千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・移住定住イベントへの参加、プロモーション動画を作成するなどして、葛城市の取り組みや魅力を発信し、葛城市への人の流れを創造する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 葛城市がこれまで取り組んできた子育て支援施策や高齢者支援施策、防災対応施策をまとめ、「住みよいまち」であることを市外特に奈良県外の人々に知ってもらうための移住促進プロモーション動画を制作し、移住定住イベントへ参加することで、全国に向けて葛城市の取組みをアピールし、葛城市の魅力を知ってもらう。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業費 ・移住定住イベント事業（負担金、印刷製本費、通信運搬費）238千円 ・移住定住ポータルサイト事業（委託料）2,500千円 ・移住促進プロモーション動画事業（広告宣伝費）500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県外からの転入者数（+100人） ②移住定住イベントを通じた移住世帯（+2世帯） ③移住促進プロモーション動画の再生回数（+25,000回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（効果検証） https://www.city.katsuragi.nara.jp/soshiki/kikakuseisakuka/22/9277.html

事業概要：しあわせの森公園を中心とした山麓地域のまちづくり事業

継続

申請者	奈良県葛城市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	132,906千円 (29,950千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	市外からの来客を市内、ひいては葛城周辺地域への観光誘客に繋げ、観光客数及び観光消費額の増加を狙うため、しあわせの森公園の整備と集客イベントを行う。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和6年4月20日に市制施行20周年事業として、しあわせの森公園で「記念ライブや記念ロゴマークの発表を行ったところ、市民をはじめ多くの方々よりイベントの継続を望む声があった。しあわせの森公園がもつポテンシャルを認識し、観光客を呼び込むために各種イベントを開催する。 また、しあわせの森公園と道の駅かつらぎの間にある多目的広場について、傾斜地のためイベントの開催が困難である。この場所を平坦にする用地造成を行うことで、当該地での集客イベント開催も可能にする。							
	【ソフト事業】 ・住民参加型春季イベント事業（委託料）10,000千円 ・イベント開催時臨時シャトルバス運行費（賃借料）700千円 ・鉄道事業者と連携したウォークイベント事業（需用費）400千円 ・組成したルートのガイドマップの作成（委託料）1,850千円 ・屋根付きベンチ設置工事（工事請負費）7,000千円 【拠点整備事業】 ・用地造成事業（委託料）10,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①道の駅かつらぎ売上額（+1億3千万円） ②しあわせの森公園来場者数（イベント時）（+10,000人） ③葛城市コミュニティバス「道の駅かつらぎ」停留所の年間乗降者数（+500人） ④金剛生駒紀泉国定公園の葛城市地域への観光入込客数（+6,317人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（効果検証） https://www.city.katsuragi.nara.jp/soshiki/kikakuseisakuka/22/9277.html	

事業概要：過去と未来を繋ぐ祈りの道「伊勢本街道」宇陀のオンリーワン魅力創出事業

旧制度（推進）

申請者	奈良県宇陀市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	28,320千円 (7,460千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光振興分野
目的・効果	・新たな周遊拠点の整備や周遊ルートを設定し、観光事業を活性化させることにより、新たな観光客やリピーター観光客の増加を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 周遊観光の拠点となる「新宿場町」を整備する。また、専門家を招聘し、トレイルラン・ウォーキングコースなどのモデルコースを造成し、デジタル端末での閲覧ができるようにする。さらに、市内の観光地及び観光名所の音声ガイドを行うアプリを導入し、市内観光事業者（飲食店、宿泊事業者、土産物販売店など）に誘導する機能や多言語機能を搭載する。併せて、観光情報のプロモーション事業を実施する。 【令和8年度事業 経費内訳】 - 伊勢本街道と宇陀市の観光地及び観光名所を結ぶ「新宿場町」の事業運営経費（委託料）2,000千円 - 観光地及び観光名所音声ガイドアプリ導入後に要するアプリのメンテナンス及び音声ガイドの追加などの保守経費（委託料）500千円 - 新しい観光客のターゲットを絞り、そのターゲットに影響力のあるインフルエンサー等の人材を招聘経費及びイベント等への出展経費（委託料）3,000千円 - モデルコースを造成するうえで、利用者の安全を担保するためのコース整備を行う。（整備費）1,960千円    周遊観光拠点		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市有観光施設観光消費額（+25,000千円） ②主要観光施設観光入込客数（+43,000人） ③周遊観光モデルコース造成数（+10件）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.uda.nara.jp/kikaku/shisei/plan/tyuukikihonkeiku.html

事業概要： エストニアと連携したアントレプレナーシップの学び環境の整備による人材育成及び移住定住の促進事業

継続

申請者	奈良県宇陀市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	100,000千円 (20,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	エストニアとの連携による先進的な学びとアントレプレナーシップ教育取り入れることで自ら課題を解決できる人材を育てる。宇陀市独自の学び環境の整備と人材育成モデルを確立し、関係人口の増加と子育て世代の移住定住の促進を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、エストニアの先進的なアントレプレナーシップ教育に取り組むことで、地域が抱える様々な問題を、子どもたちが自ら考え、解決策を提案できるような人材、課題発見から解決まで実践できる人材を育成し、地域課題の解決を目指す。そのため、エストニアのアントレプレナーシップ教育の知見を集め、宇陀市版にアレンジし、誰もがアントレプレナーシップを学ぶことができ、更に育った人材が宇陀市で活躍できる環境づくりを進める。						
	【ソフト事業経費】 ①宇陀アントレプレナーシップの育成・環境整備の取り組み（委託料）3,000千円 ②「宇陀独自の学び」を実施する組織構築及び拠点・体制（仮称）アフタースクール整備に向けた取り組み（委託料）5,000千円 ③エストニアとの交流や留学調査から得た知見やネットワークをもとに、市内でアントレプレナーシップを養成する取り組み（委託料）2,000千円 ④エストニア関係者・起業家の子供向け対話イベント経費（謝礼等）1,000千円 ⑤移住定住促進に向けた情報媒体製作・プロモーション（委託料）4,000千円 ⑥エストニアとの連携調整・事前交渉等に係る経費（委託料）5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①宇陀市におけるUJIターン者数（+40人） ②宇陀市独自教育プログラムの実施回数及び時間（+18回） ③宇陀市独自教育プログラムへの参加者数（+1000人） ④宇陀市における総人口に対する子供から中年層までの人口が占める割合（+0.3ポイント）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.uda.lg.jp/soshiki/5/1502.html

申請者	奈良県三宅町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	52,718千円 (18,106千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人材育成と広報活動を通じて、人材確保育成好循環サイクルを確立し、関係人口や移住希望者の増加させ、町の持続的発展を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多世代人材の確保育成プログラムとして、住民向けの学びの場を開設し、そのプログラム参加者が運営を支援する実践機会を提供する。また、広報・タウンプロモーション事業として、図書フロア、MiiMo、文化ホールなどを拠点に、地域おこし協力隊等と連携し、効果的な情報発信方法の検討を進め、町の魅力を外部に発信する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 多世代人材の確保育成プログラム ・育成プログラム開催経費（委託料） 5,015千円 ・地域交流イベント実施経費（負担金） 1,470千円 ・その他事務経費（謝金、旅費、需要費、役務費） 765千円 広報・タウンプロモーション事業 ・タウンプロモーション事業委託費（委託費） 9,276千円 ・タウンプロモーション開催に伴う会場使用料等（使用料） 581千円 ・その他事務経費（謝金、需用費、役務費） 1,006千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①転入者数（+36人） ②ウェルビーイング指標（地域行政）（+50%） ③ウェルビーイング指標（事業創造）（+47%） ④まちの課題に取り組んだプロジェクト数（+10ポイント） ⑤コワーキングカフェ（サテライトオフィス）利用者数（+19%） ⑥事業運営に利用料収入の増加（+50%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年度6月公表予定

事業概要：三宅次世代型農業推進事業

継続

申請者	奈良県三宅町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	11,696千円 (4,342千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	1500年の歴史を誇る美しい田園風景を次世代へ引き継ぐため、持続可能な農業を推進 ・特別栽培米の生産推進、農業用機械長寿命化、廃プラスチック適正処分など、環境に配慮した農業の推進 ・事業者と連携した特別栽培米の販路開拓、地産地消の推進や農業体験を通じた地域農業の活性化 ・畦畔除去による農地拡大やドローンによる農薬散布による農作業の効率化および省力化						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 三宅町が目指す将来像「三宅町の田園風景と農業が100年先も変わらずにある未来」を実現するため、担い手不足を解消するための支援、特別栽培米の生産推進と販路開拓、スマート農業導入支援を行う。また、環境負荷に関する意識改革を促す講習会実施、地域と農業のつながり強化のためのイベント等を開催する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・農作業機械改修支援、農業用廃プラスチック適正処分支援、水稻病害虫防除支援、特別栽培米生産支援（補助金） 1,980千円 ・販路開拓等ブランディング事業（委託料） 1,655千円 ・農業体験実施に係る経費 250千円 ・特別栽培米生産推進に係る経費 217千円 ・啓発イベント・販路開拓に係る経費 104千円 ・その他事務費 136千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新たな農業者の参入（+5人） ②特別栽培米の収穫量（+40,890kg） ③環境負荷低減支援制度活用数（+45回） ④作業効率化および省力化実施面積（+60a） ⑤地域内における三宅町産特別栽培米使用量（+1,590kg）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年度6月公表予定

事業概要：町内のイノベーション拠点を中心としたスタートアップ等の誘致・集積による産業振興・地域活性化事業

継続

申請者	奈良県田原本町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	78,000千円 (19,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地元企業との連携事業を通じて、誘致したスタートアップの田原本町への定着を図る。中長期的には、注力テーマについてスタートアップによる産業クラスターを構築することで、地域における雇用と付加価値の創出を図る。また、地域の社会課題解決に貢献するとともに、横展開により域外の社会課題解決にも貢献する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地場産業と親和性の高い「バイオものづくり分野」等の有望なスタートアップを誘致し、専門家による伴走支援、地元事業者との連携・協業による実証事業のマッチング、ファンドによる財政支援を行うことで、スタートアップの定着を図る。また、イノベーション拠点を整備し、地域での知見・技術・人脈のネットワーク形成を促進する。中長期的には関連企業の集積・産業クラスターの構築を図り、地域における来ようと付加価値の創出を通じて地域課題の解決を図る。					 奈良中央信用金庫旧本店を改修したイノベーション拠点	
	【R8年度 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地元事業者との協業によるスタートアップ誘致・定着事業（委託費） 19,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①田原本町内における新規雇用者数（+6人） ②本事業によるスタートアップ定着数（+10社） ③田原本町に関係するバイオものづくり分野に特化したファンドによる投資実行（+18件） ④地元事業者とスタートアップとのオープンイノベーションプロジェクト組成数（+5件） ⑤地域関連事業者による拠点におけるイベント運営数（+15件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年度9月公表予定

事業概要：田原本町農産物ブランド力強化事業

継続

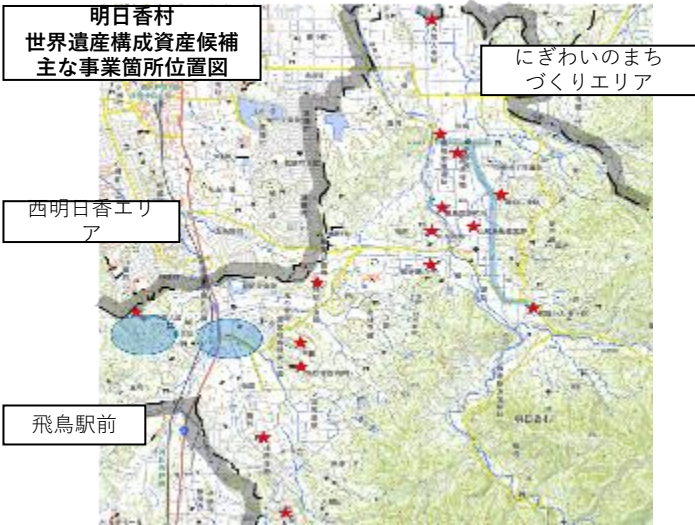
申請者	奈良県田原本町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	9,710千円 (3,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・農地を維持しながら町の活性化を図る必要がある中、町域に占める農地割合が高いという特性を活かした町活性化策として、町内の農産物を他に誇れるようブランド化を進める。 ・ブランド力を強化した農産物を介して、町の交流・関係人口を増加させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 町内で生産されている伝統野菜を中心に、町産農産物のPRを行うなど、ブランド力の向上を図る。また、地元の方、特に子供たちに地元野菜の美味しさや素晴らしさを認識してもらうことで地産地消を促進し、地元からもブランド力の強化を行う。更に、町産農産物を使用した加工品の商品化に向けた研究開発等に係る支援を行う。併せて、町産農産物の生産を促進するため、耕作放棄地の解消を行う農業者に対し、耕作放棄地の解消に係る経費や農業機械の購入に係る経費を支援する。					 大和の伝統野菜 味間いも	
	【ソフト事業】 ・町産農産物のブランド力向上、ブランド化促進事業（補助金）700千円 ・町産農産物のブランド力向上、ブランド化促進事業（委託料）500千円 ・町産農産物を使用した商品の商品開発支援事業（補助金）300千円 ・町産農産物の生産圃場を確保するための耕作放棄地解消事業（補助金）1,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①作付け推進農産物の作付け面積（+9ha） ②住民等に対する町産農産物及び加工品の年間提供回数（+2回） ③加工品の商品化件数（+1件） ④耕作放棄地解消筆数（+2筆）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年度9月公表予定

事業概要：みつえ青少年旅行村リニューアル事業

継続

申請者	奈良県御杖村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	249,449千円 (117,044千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	みつえ青少年旅行村の拡張及び関連施設整備をすることによって、より多くの利用客を呼び込み、年間を通じて楽しめる三峰山登山の玄関口としての機能を創り出す。また、キャンプ場の整備については、近年のアウトドアユーザーのニーズに合わせたサイトの区画整備を行い、今まで培った運営のノウハウを活かしてサービスの向上を目指し、みつえ青少年旅行村が創り出す御杖村の観光振興を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 自然体験型の観光を推進するため、室生赤目青山国定公園という立地を活かした公設のキャンプ場であるみつえ青少年旅行村をリニューアルし、観光客の増加や滞在時間を伸ばすことによって、観光消費拡大や村内周遊促進へ繋げていく。みつえ青少年旅行村リニューアルをするにあたり、既設のオートキャンプ場を拡張することによって、より多くの利用客を呼び込み、年間を通じて楽しめる三峰山登山の玄関口としての機能を創り出す。また、今まで培った運営のノウハウを活かしてサービスの向上を目指し、みつえ青少年旅行村が創り出す御杖村の観光振興を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 みつえ青少年旅行村リニューアル事業 117,044千円 ・新規ゲートエリア用地造成工事（休憩所ゾーン）（4,264千円） ・新規ゲートエリア用地造成工事（駐車場ゾーン）（4,870千円） ・新規オートキャンプエリア用地造成工事（107,910千円）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①キャンプ場利用料収入（+32,725千円） ②キャンプ場利用件数（+5,950件） ③キャンプ場利用人数（+23,800人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.mitsue.nara.jp/kurashi/gyosei/seisaku/3004.html

事業概要：「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産登録を契機としたにぎわいのまちづくり事業

申請者	奈良県明日香村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	340,850千円 (39,950千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録にあわせて、村特有の文化的資産を最大限に活用する。 ・関係人口を積極的に受け入れ、明日香法による規制下でも地域の活力を維持する。 ・観光と農業を軸として、明日香村ならではの地場産業を発展させる。 ・唯一無二の資源をフルに活用し、「飛鳥ブランド」により明日香村の価値を高め、大きな経済波及効果を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 明日香村は、2026年の世界遺産登録、2027年の民間高級宿泊施設開業を契機として、観光消費拡大とオーバーツーリズム抑制を両立する仕組みを構築する。村のゲートウェイである飛鳥駅周辺を拠点として再整備し、回遊性と利便性を高めるとともに、西明日香エリアにて企業等の参入を促し地域経済を活性化する。また、駐車場の有料化等で持続的な財源を確保し、交通需要の制御により環境保護と住民生活を維持するモデルを築く。さらに、地下遺構をVR等で可視化して滞在型観光を促し、文化財保護への意識を醸成する。加えて、共通のデザインルール策定により飛鳥ブランドを統一・強化し、付加価値の高い観光消費と強力な情報発信を通じて地方創生を具現化する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・飛鳥駅周辺の機能強化検討（委託料）21,000千円 ・明日香村地域交通リ・デザイン（委託料、需用費）2,700千円 ・デジタル技術によるデジタルコンテンツ作成（委託料）8,250千円 ・飛鳥ブランド構築・活用の検討（委託料、需用費）8,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①村内観光消費消費額（+2,457,800千円） ②宿泊者数（+43,000人） ③農業粗生産額（+0.3億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.asukamura.jp/gyosei_ippan.html

事業概要：地域資源の高度化によるブランディング実践事業

継続

申請者	奈良県広陵町					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	51,080千円 (11,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	町内の靴下製造事業者が大手企業からの下請けに頼ることなく、自社ブランド販売比率を高めた高収益な経営に転換する。また、イチゴをはじめとするブランド農産物の消費者や飲食事業者への直販による高収益な農業経営によって志をもった新規就農者などの外部人材を新たな農地の担い手として受け入れられる下地を創出する等、地域ブランドを軸にした地場産品の稼ぐ力を高める。これにより、町内に多様な「働く場所」が生み出し、町外へ就職、通勤している世代の流出抑制にも寄与し、地域経済全体の活性化を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 前年度に引き続き超特産品である靴下といちごの特性に合わせた集中的なプロモーション活動を実施し、販売チャネルの整備を進める。特に、靴下においては本格的な海外展開を見据え商品開発の実施及び、将来的に民間資金による投資対象となる「利益が出るビジネスモデル」の構築を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 外部コーディネーターとの連携によるコラボ靴下商品開発事業 2,000千円 ・コーディネーター招聘費用 ・共通パッケージ等制作支援費用 「ストロベリータウン広陵」及び「広陵くつした」プロモーション事業 3,500千円 ・いちごを用いたタウンプロモーション事業 ・靴下ブランディング支援事業 販売チャネル構築事業 5,500千円 ・ECサイト等管理運営 ・ポップアップイベント出店 ・町内販売拠点整備（消耗品代、備品リース代等）						
主なKPI	①各種メディアにおける掲載及び放送回数（+25回） ②コーディネーターとの連携による開発商品数（+25件） ③「広陵くつした」参画事業者数（+7件） ④一般社団法人広陵町産業総合振興機構が運営するECサイト及び公式ホームページ、SNS等へのアクセス数（+109,920千件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	公式サイト https://socks.nariwai-koryo-nara.or.jp/ 公式ECサイト https://nariwai-koryo-nara.myshopify.com/ 公式Instagram: @koryo_kutsushita

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：商いからはじまる地域まちづくり事業～小さな地域商社設立～

継続

申請者	奈良県大淀町					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	117,601千円 (46,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域（エリア）ごとに地域課題を商品化する「地域の新しい事業推進主体（小さな地域商社）」づくりを進める。 ・地域資源を活用できる「事業者のデジタル変革」を支援し、地域の稼ぐ力と地域経済循環率を高める。 ・人、地域、企業、行政それぞれの『対話』を自らデジタル化できる人材育成とデジタル活用基盤の構築を進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域への来訪者が減少している中、消費者や生活者に求められる商品やサービスを作り出す力（稼ぐ力）の創出が必要であり、そのようなチャレンジを推進できる人や組織を創出していかなければならない。そのため、本事業においては、企業の稼ぐ力の創出を支援しながら、自ら事業推進の主体性を持つ組織や企業を創り出す仕組みづくりを進め、それらの小さな事業推進主体（小さな地域商社群）が、将来連携しながらまち全体の稼ぐ力を生み出していくことを目指していくものである。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・課題解決型イベント実施支援 6,200千円 ・地域まちづくり計画策定支援（委託料） 7,600千円 ・専門家による経営相談、セミナー開催（委託料） 13,000千円 ・商品開発支援、テストマーケティング（委託料） 7,500千円 ・販路開拓等に係るスタッフ雇用（人件費） 3,500千円 ・地域の特産品等材料等購入 500千円 ・産業マルシェ開催に係る経費（什器等設備費等） 1,500千円 ・対話型デジタル実装に係るアプリ利用料、開発講師委託料 6,200千円						
主なKPI	①農林水産物（加工品含む）の売上高（+24,000千円） ②ECサイト登録商品数（+28品） ③新たな地域運営組織（小さな地域商社）を設立しようとする地域の数（+3地域） ④地域デジタルポイント活用に取り組む企業数（+9企業）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.oyodo.lg.jp/0000001807.html

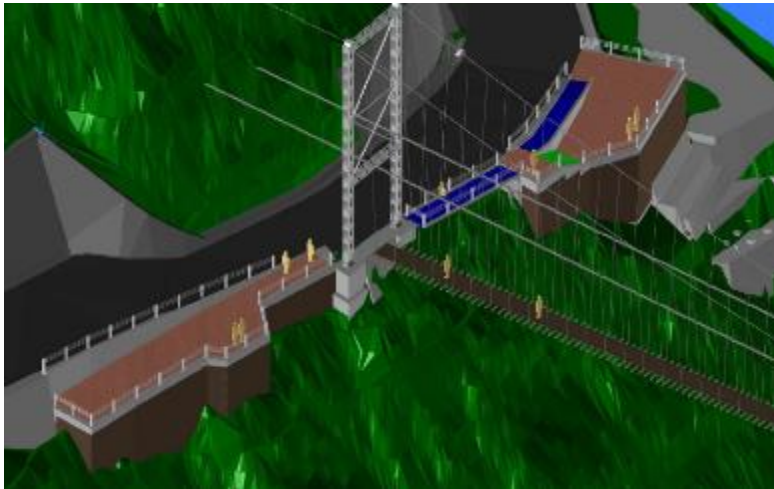
事業概要：21世紀の森 紀伊半島森林植物公園のリニューアル等地方創生拠点整備事業

継続

申請者	奈良県十津川村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	41,075千円 (1,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	「21世紀の森紀伊半島森林植物公園」の施設改修を通じて、地域経済の活性化と施設利用者の利便性向上を実現することである。具体的には、オープンキッチンやカフェエリアの整備、研修棟の快適性向上により、地域資源を活用した観光振興や地元特産品の発信を促進する。さらに、森林環境教育や体験型プログラムを通じて、地域住民や観光客の環境意識を高め、地域の持続可能な発展を支えることに期待できる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 空中の村を核とした観光拠点機能の高度化と、地域資源を活用した特産品開発を一体的に推進する。具体的には、滞在・体験型コンテンツの充実により来訪者の滞在時間および消費額の向上を図るとともに、カフェや物販施設において、特産品の開発・販売を行う。特産品開発にあたっては、大阪公立大学と連携し、専門的知見を活かした商品企画やブランディングを進め、付加価値の高い商品化を目指す。あわせて、森林環境教育や体験プログラムは自治体主体で継続実施し、地域理解の深化と関係人口の創出につなげる。						
	【令和8年度 経費内訳】 ○ソフト事業 ・特産品の開発 1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額の増加（+2億2千3百万円） ②SNS総フォロワー数（+5万人） ③年間施設売上(カフェ等)（+5百万円） ④雇用創出数（+5人） ⑤森林環境教育・イベント等の参加者数（+420人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年度8月公表予定

事業概要：日本一長い「谷瀬の吊り橋」を活かしたまちづくりによるまちの質や価値の向上、賑わい・交流の創出

継続

申請者	奈良県十津川村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	402,510千円 (69,475千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 北の玄関口である「谷瀬の吊り橋」周辺を従来の住人と新たな移住者、観光客が共存できる観光拠点としてのグランドデザインを策定し、新規事業者の誘致と魅力ある街並みの整備を行う。 - 観光地としての高付加価値化を行うことで観光客の滞在時間を延ばし、地域での消費額増加を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、谷瀬の吊り橋周辺において、公衆トイレや農産物直売所などの拠点整備、歩道整備等のインフラ整備、観光プロモーションやデータ活用といったソフト事業を一体的に推進するものである。これにより、観光客の利便性向上と回遊性・滞在時間の延長を図り、地域内消費の拡大と賑わい創出につなげる。あわせて、住民意見を反映した集落づくりや地域ビジネス創出を進めることで、交流人口・関係人口の拡大、さらには移住・定住促進を目指す持続可能な地域づくりを推進する事業である。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・新規起業家支援（補助金）6,000千円 ・専門家による観光マーケティング等の伴走支援（委託料）2,475千円 ○インフラ整備事業 ・歩道整備事業 61,000千円 歩行者に配慮した歩道の整備						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①中野村区の世帯数（+32世帯） ②観光消費額（+1億6千万円） ③駐車場の年間利用台数（+28,000台） ④新規起業件数（+16件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年度8月公表予定

事業概要：世界遺産小辺路・神納川地区「宿泊・防災ハイブリッド拠点」整備と
広域観光振興計画

新規

申請者	奈良県十津川村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	430,000千円 (17,900千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・神納川地区に整備する拠点を核として、地域資源・人材・民間ノウハウを結び付け、地域が自立的に稼ぐ仕組みを構築する。 ・宿泊・体験・物販等の複合的な事業展開により、観光消費額の増加と地域内経済循環の向上が見込まれる。 ・地域ブランドの確立により、交流人口・関係人口の拡大と中長期的な地域経済の安定化が期待される。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、神納川地区に整備する拠点を核として、世界遺産「小辺路」の立地特性や民間企業との連携を活かし、観光・体験・物販を一体的に展開することで、地域が自立的に稼ぐ仕組みを構築するものである。宿泊機能や高付加価値体験プログラムの整備により、滞在時間の延長と観光消費額の増加を図るとともに、地域特産品のブランド化や販路拡大を推進する。あわせて、平時は交流・滞在拠点として活用し、非常時には住民や来訪者の命を守る防災拠点として機能させることで、地域の安全・安心を確保する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・拠点整備協議会（仮称）の設立・運営事業（委託料・謝金）3,300千円 ・「小辺路レガシールート協議会」設立事業（謝金）300千円 ○拠点整備事業 ・実施設計業務（1年目） 11,000千円 ・敷地造成設計業務 3,300千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①神納川地区における付加価値増加額（+3千万円） ②小辺路（三浦峠周辺）の年間登山者数（+1,500人） ③若者の就業者数（新規雇用創出数）（+8人） ④自然体験・人材育成プログラムの年間受講者数（+300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年度8月公表予定

事業概要:道の駅下北山の整備

継続

申請者	奈良県下北山村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	116,764千円 (23,335千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	使用を休止しているキャンプ施設（東山いこいの森）において、民間資本による宿泊・休憩施設を再整備することで、新たな観光客の増加、地域における雇用機会の創出を図り、地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 道の駅を整備し、特産品の開発や積極的な情報発信を進めることにより、観光消費額の増加を図る。 道の駅を観光拠点に地域観光の起爆剤として、魅力あるプロモーションを実施することで、着地型観光の推進や交流人口・関係人口の増加を目指す。今後の地域活性化のために観光・賑わいの拠点を創る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ●設備整備 ・給水設備工事 11,000千円 ・給水設備工事設計管理委託料 2,335千円 ●備品 通信設備機器（Wi-Fi設置費）100千円 観光案内所・特産品販売所 商品棚 8,900千円 什器 1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の観光消費額（+1億4百万円） ②新規商品開発数（+29個） ③キャンプ場利用者数（+2,900人） ④観光入込客数（+15,400人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.shimokitayama.nara.jp/yakuba/yakuba4.html

事業概要：下北山村関係人口創出・拡大事業

新規

申請者	奈良県下北山村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	6,910千円 (3,410千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少・少子高齢化に伴う地域の担い手不足による地域活力の低下が課題となるなか、関係人口受け入れ体制を構築し、地域課題とのマッチングを行うことで村への愛着を醸成する。また自然資源を活用したイベントによる地域の魅力の発信やウェブサイト、SNSを活用した情報発信を行うことで関係人口の創出による地域の活力を向上させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 関係人口と地域課題をマッチングするため、ウェブサイトやSNS等での特産物等に係る情報発信を行い、関係人口の創出を図る。また、人材育成や若者に選ばれるテレワーク空間を整備することで、継続的に地域に関わる人材を確保する。また、自然資源を活用したイベントの実施による地域の魅力発信や、賑わいづくりを行い地域活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・関係人口創出に係るウェブサイト、SNS情報発信（委託料）242千円 ・関係人口受け入れ態勢の構築事業（委託料）1,000千円 ・関係人口創出に係るテレワーク環境整備（修繕料）2,168千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じて創出した関係人口創出数（+50人） ②関係人口創出ウェブサイトの年間アクセス数（+5,000件） ③本事業実施におけるイベント参加者数（+500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.shimokitayama.nara.jp/yakuba/yakuba4.html